

広報とめ



OCTOBER 2012

10

No.179

主な内容

- 表紙 登米秋祭り（9月16日）
- ねんりんピック卓球交流大会が登米市で開催
- おじいさん・おばあさん いつまでもお元気で
- 登米市の和牛 全国大会へ
- 劇団ドリーム★キッズ記念公演
- 市民の広場
- 市からのお知らせ・暮らしの情報

祝 敬老

おじいさん・おばあさん

いつまでもお元気で



市内最高齢の三浦牧さん(左)と布施孝尚市長



市では老人の日（9月15日）、老人週間（9月15～21日）、敬老の日（9月17日）にちなみ、90歳362人、95歳97人、99歳31人、101歳以上23人の長寿者の皆さんに対して、敬老祝金を贈呈し長寿を祝いました。市内の最高齢は、男性では今野明治さん（101歳 明治44年1月生まれ）。女性では三浦牧さん（106歳 明治39年7月生まれ）です。100歳の祝金は、長寿者の誕生日に市長などが自宅や施設にうかがって贈呈しています。平成24年度は9月末現在で10人に祝金を贈呈しました。今月号では、登米市の高齢者数や来年3月31日現在で100歳以上の長寿者を紹介します。

高齢者数と高齢化率

年度	高齢者数	高齢化率	人口
平成20年	24,363人	27.6%	88,277人
平成21年	24,328人	27.9%	87,087人
平成22年	24,160人	28.0%	86,289人
平成23年	23,634人	27.6%	85,611人
平成24年	23,585人	27.6%	85,304人

市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者の割合）は、平成24年3月末現在で27.6%と、高い割合を示しています。表。今後はさらに、団塊の世代が一斉に65歳以上の高齢期を迎えることから、高齢化は急速に進むものと予測されます。時代となっており、健康で自立して暮らす健康長寿者が増えてきます。豊かな経験・知識・技能を持つた高齢者が、生きがいを持ち、積極的に社会参加していくことは大変喜ばしく、また、社会全体の活力を維持するためにも高齢者の力が必要となっています。

◆下半身が不自由なため、普段車いすで生活しているすゑ子さん。歌が好きで、よく昔の歌を歌っています。100歳を記念してお花と祝金が手渡されました。



登米市では、毎年100歳を迎えた人へ、市長が訪問し、祝金を贈呈しています。100歳を迎えた皆さんは市長との対面を喜び、日々の生活の様子や健康の秘訣などの会話を楽しんでいました。ここでは8月から9月に100歳を迎えた方の中から3人を紹介します。

◆好き嫌いなく何でも自分で食べ、お風呂も一人で入るきみさん。普段、歩くのはシルバーカーを利用しています。市長とともに記念撮影しました。



おめでとうございます
祝100歳

◆デイサービスや娘夫婦と一緒に買い物に出かけることを楽しみにしているヒロエさん。誕生日には親族の皆さんが集まり、市長とともに記念撮影しました。



新たな評価手法を実践

平成24年度行政評価「外部評価」



市が取り組んでいる事業について、市民の視点で評価する行政評価の外部評価が8月9、22、29の3日間、市役所迫庁舎などを会場に開催されました。

外部評価は、行政と市民や民間の役割分担、費用対効果などについて、市民の視点による評価を実施し、行政評価の客観性と透明性を高めることが目的です。

今年度は、従来の個別事業に対する評価のほかに、関連する複数の個別事業をまとめた基本事業の評価を加え、市行政評議委員会委員7人により、各個別事業の関わり方や事業ごとの重要度について総合的な評価が行われました。評価結果は、市のホームページで公開しています。

水上の戦い、熱く

第23回長沼レガッタ



登米市の秋の訪れを告げる風物詩として定着した、長沼レガッタが9月16日、県長沼ボート場で開催されました。

平成2年に同会場でインターハイが開催されたのを記念し毎年開催されているもので、今年で23回目となります。

競技のナックルフォアには、男子、女子、男女混合の種目に合計44クルー、カヌーには小学生男子、同女子、一般男子の種目に合計19クルーが出場、水上での熱戦を繰り広げました。

会場付近には、応援団のメンバーが並び、自チームの応援やバーベキューなど、選手とともにレガッタを楽しんでいました。

鍛錬の成果を披露

市消防団演習を実施



平成24年度市消防団演習が9月2日、長沼フートピア公園で開催され、市内9支団の団員総勢約700人が日頃鍛えた消防操法技術や士気の高さを競い合いました。

演習は、9支団対抗により小隊訓練と小型ポンプ操法の2種目で競われました。夜間に早く朝に訓練を重ねてきた団

員たちは、指揮者の号令で一斉に作業に取り掛かり、機敏な動きでホース延長や放水などの操作を繰り広げました。審査は、士気、規律、敏よさ、確実性、チームワーク、安全性などを基準に採点され、ポンプ操法と総合では南方支

危険な状況で、消火と救助

市民5人に感謝状を贈呈



市消防長から感謝状が贈られた（左から）阿部幹男さん、大場美咲さん、大場洋子さん、田口政信さん

登米の食材を堪能

消費者が産地見学ツアーア

市内外の消費者の皆さんに、登米市産食材についての理解を深めてもらうとともに、生産者との交流を図ろうと「登米市産食材産地見学ツアー」が9月1日、サンシャイン佐沼で開催されました。見学ツアーリには61人が参加。3つのコースに分かれて市内の生産現場を見学した後、昼

登米市産食材についての理解を深めてもらうとともに、生産者との交流を図ろうと「登米市産食材産地見学ツアー」が9月1日、サンシャイン佐沼で開催されました。見学ツアーリには61人が参加。3つのコースに分かれて市内の生産現場を見学した後、昼

登米市産食材についての理解を深めてもらうとともに、生産者との交流を図ろうと「登米市産食材産地見学ツアー」が9月1日、サンシャイン佐沼で開催されました。見学ツアーリには61人が参加。3つのコースに分かれて市内の生産現場を見学した後、昼



絵本で感性を育む

第13回市絵本原画展



登米市産食材を使った料理を味わう参加者の皆さん

今年で13回目を迎える「市絵本原画展」が9月6日から9日の4日間、登米祝祭劇場を会場に開催されました。今年は、地元伊豆沼を題材にした石倉欣二さんの絵本「のんちゃんと白鳥」の原画19枚を展示。会場には、伊豆沼・内沼フォトコンテストで入選した11点の作品や県図書

今年で13回目を迎える「市絵本原画展」が9月6日から9日の4日間、登米祝祭劇場を会場に開催されました。今年は、地元伊豆沼を題材にした石倉欣二さんの絵本「のんちゃんと白鳥」の原画19枚を展示。会場には、伊豆沼・内沼フォトコンテストで入選した11点の作品や県図書

たくさんの絵本の中からお気に入りの絵本を見つけ、仲良く読む子どもたち

登米市でのできごと
おしらせします！

▲災害発生時の対応手順について、熱心に説明を聞いていました

災害救援の活動拠点に

東日本大震災では、災害現場で必要としている情報がボランティアに十分に伝わらず、効率的な活動ができなかったといわれています。そのことを教訓に、災害発生時に救援ボランティアの活動拠点を担うための災害ボランティアセンター設置訓練が9月5日、石越体育センターで実施されました。訓練当日は、地区の自主防災組織から行政区長や婦人会など約100人が参加。災害発生時を意識しながら現場のニーズの把握やボランティアとの調整、対応手順などを確認していました。

地域の頼れるリーダーとして

災害発生時に自主防災組織の中心的役割を担う行政区長や民生委員を対象とした災害ボランティア研修会が9月13日、南方公民館を開催されました。栗原市社会福祉協議会の佐藤一繁さんが「災害における地域リーダーとしての役割」と題し講演。その後、四つのグループに分かれて講師が用意したマップをもとに「バーチャルマップ体験」をしました。災害発生時の避難経路の決定や住民の安否確認など、今後の災害マップづくりに役立てようと熱心な議論が交わされました。



▲バーチャルマップ体験により、災害時の対応を学ぶ参加者



▲人形劇でわかりやすく交通安全を説明する交通安全指導隊

人形を使って楽しく学ぼう

津山子育て支援事業「ぽんぽこ広場」による交通安全教室が9月12日、津山子育て支援センターで開催されました。津山地区交通安全指導隊が人形劇で、道路の横断方法や飛び出しの危険について説明。人形劇は、ユーモアのあるセリフや歌と一緒に歌う場面など指導隊のアイディアが詰まった内容となっており、参加した親子は楽しく交通ルールを学んでいました。最後に子供たちから指導隊へのお礼として、折り紙で作った花束が渡され、楽しい教室となりました。

御神輿で復興を祈願

石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭りが8月25日、同館駐車場で開催されました。この祭りはコミュニティ組織をはじめとする地域団体と来館者とのふれあいや交流を目的として毎年開催されています。今年も仮面ライダーよさこいバージョンフェスティバルや復興祈願「御神輿」の練り歩きなどが行われ、多くの見物客でにぎわいました。祭りの締めくくりとして、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、豪華な賞品が当たるたびに会場からは大きな歓声が上がっていました。



▲地元の若者たちによる復興神輿が町内を練り歩きました

優勝をめざして一致団結

豊里地区市民大運動会が9月2日、豊里運動公園で開催されました。競技は、愛くるしい園児のかけっこに始まり、各地区の力自慢による綱引き、地区対抗リレーなど11種目。今年は、東日本大震災を教訓に、防災用品を描いたカードを選んでリレーする「備えて安心」という競技も取り入れられました。応援の地区テントからは、各種目に大きな声援と拍手が送られていました。白熱した競技の結果、総合優勝は竹花町内会。準優勝は下町町内会、第3位は庚申町内会でした。



▲秋晴れの下、参加者は心地よい汗を流していました

未来の横綱を目指して

道の駅米山の特設相撲場で8月26日、第6回丸山杯少年相撲大会が開催されました。この大会は、米山町出身の第3代横綱丸山権太左衛門の顕彰と相撲の普及・発展を目的として行われています。今年は県内から小学生13チーム、中学生2チームが参加。小学校の部は予選を勝ち抜いた低・中・高学年ごとの決勝トーナメント戦、中学の部は総当たり戦で決勝戦が行われました。参加した選手は日頃の練習の成果を出そうと、土俵の上で力一杯の相撲を繰り広げ、観客からは大きな声援が飛び交っていました。



▲大人顔負けの力強い取組が繰り広げられました

登米祝祭劇場を拠点に活動する子ども
ミュージカル「劇団ドリーム★キッズ」
の第10回記念公演が、9月15、16日の2
日間、同劇場で開催されました。10年間
の成長と感謝の思いを込めた公演の様子
を紹介します。(17~19ページ)

10年の思い込めた 劇団ドリーム★キッズ記念公演

この第10回公演でドリーム★キッズを卒団する根来志保さん(中央)は、劇団結成時からのメンバーです。今回の「誕生祭～ノラネコ風太とわたしの物語～」では、主役の風太役を見事に演じ切りました。



迫で長沼自然体験教室 人と自然のつながり学ぶ

長沼の自然を観察し、環境意識の向上や青少年の健全育成を図ることを目的とした「長沼自然体験教室(長沼漁協主催)」が9月8日、長沼で開催され、市内の小学生30人が参加しました。体験では、外来魚駆除用の捕獲器にどのような生物が入っているか確認したり、船で遊覧したりしながら長沼の生態系について学びました。長沼漁協の阿部正一組合長は「長沼の自然環境を守りながら、今後も地域の特性を生かした体験活動を子どもたちに提供していきたい」と話していました。



▲船上から長沼の生態系について学ぶ子どもたち



▲献花台に花を手向け、手を合わせる参列者

東京・東大和市で被災地交流 野球を通して思い出づくり

東和町の少年野球チーム、錦小木エールズと米谷タイガースの合同チームが8月17日から19日までの3日間、東京の東大和市に招かれ、地元の子どもたちと交流しました。これは、東日本大震災による被災地の子どもたちとスポーツを通じて交流を図ろうと東京都と都体育協会が主催したものです。東和町の子どもたちは、17日に東京に到着し歓迎会の後、東大和市の選手の自宅にホームステイしました。翌日の交流試合では1対4で惜しくも敗れたものの、夏休みの楽しい思い出になりました。



▲交流事業に参加した登米市と東大和市の子どもたち

客席へ届け、万感の思い



▲2日間、大勢の観客が訪れた公演。劇団の10年の歩みは確実に市民に浸透しました



子どもミュージカルの枠を超えた
歌、踊り、表現力。10年間の成長
を示した見事なステージ



▲舞台が終わりホールで観客を見送る出
演者たち。みんなの笑顔がほころぶ
△小道具や衣装を整える団員の保護者ら。



舞台のラスト。出演者全員がそれ
ぞれの思いを込めた歌声を、会場
いっぱいに響かせました



△本番に向け入念に化粧をする演出者
仕上がるほどに緊張感が高まります



△開演直前、団員の音頭で
公演の成功を誓う出演者、スタッフ

劇団ドリーム★キッズ

平成14年度に、公益財団法人登米文化振興財団主催のミュージカルワークショップに参加した児童・生徒と保護者で結成。登米祝祭劇場を会場に毎年公演を開いている。演技を指導しているのは、仙台を拠点にミュージカルの公演や演劇の活動をしている「オムライスファクトリー」。平成24年度の団員数は24人。今年度の第10回公演「誕生祭～ノラネコ風太とわたしの物語～」では、新たに応募した5人の準キャストを加えて公演を開催した。来年秋の公演に向けて活動を開始するとともに、新団員を募集している。

【問い合わせ】登米祝祭劇場

☎ 0220(22)0111



No.179

広報とめ

10月 1日号

発行日 平成24年10月1日
〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

**大浦行政区
ユニカールクラブ代表
星 昭男 さん**
星 昭男 さん
ユニカールは非常に作戦が重要で、考えながらチーム一丸となって競技します。頭の体操になり健康増進にも効果があります。これからも楽しく練習して、優勝を目指して頑張りたいと思います。



スマイルライフ

イキイキと活動している、サークル・団体を紹介します!!

40

【問い合わせ】
新田公民館
☎ 0220 (28) 2037

ユニカールクラブ（迫）
ユニカールは、氷ではなく
カーペットを使ったカーリング
で、高齢者でも気軽に楽し
めるニュースポーツです。

大浦町内会ユニカールクラ
ブでは、冬期間の毎月第2第
4金曜日に新田公民館で練習
をしています。大会をイメー
ジして色々な作戦を考えなが
ら練習しており、狙いどおり

にストーンを投げられると思
わず笑みが出てしまいます。
昨年度からは、新田地区コ
ミュニティユニカール大会が
開催され、各地区の代表者と
腕を競い合い、好成績を残す
ことができました。これから
も区民の健康増進と親睦と融
和を図ることを目的に楽しく
活動していきます。

おいしい! 楽しい! 米粉クッキング

Komeko Cooking

こめっこ 五平もち



【考案者】 小野寺 洋子（津山）

◆材料【13本分】

パン用米粉	300g	だんご粉	300g
白玉粉	100g	ぬるま湯	適量
味噌	大さじ5	砂糖	大さじ5
みりん	大さじ2	酒	大さじ2
はちみつ	大さじ3		

◆作り方

- ①パン用米粉、だんご粉、白玉粉を合わせぬるま湯で耳たぶくらいのやわらかさになるまで練る。
 - ②①を小判形に丸めて成型し、沸騰した湯でゆでる。浮き上がってきたら、網じゃくしてください、冷水で冷やす。
 - ③②をざるにあげ、割りばしに2個ずつ串刺しにする。
 - ④魚焼きの網で焦げ目がつく程度さっと焼く。
 - ⑤鍋に味噌、砂糖、みりん、酒、はちみつを入れて混ぜ、軽く火にかける。
 - ⑥④に⑤で作った味噌だれをつけて出来上がり。
- 【ホームページでそのほかのレシピも紹介しています】

出店数約700店舗！ 東北最大規模のフリーマーケット

登米市佐沼

秋のフリーマーケット

【日 時】 10月21日(日)午前9時～午後3時30分

【場 所】 市役所迫庁舎駐車場・迫中江中央公園ほか

出店数は約700店舗！東北最大規模のフリーマーケットで、あなただけの掘り出し物を見つけてください。

歌謡ショーや、子どもたちによる演奏、ジャンボのり巻に挑戦などの楽しいイベントも盛りだくさんです。

皆様のご来場をお待ちしています。

主なイベント

- ◎東北最大級のフリーマーケット
- ◎市消防本部による防災フェア
- ◎佐沼警察署による
安全・安心フェア
- ◎豪華景品が当たる大抽選会
- ◎ジャンボのり巻100mに挑戦！
- ◎登米春嵐太鼓演奏
- ◎佐沼中吹奏楽部演奏
- ◎歌謡ショーなど

【問い合わせ】

佐沼中央商店会

☎ 0220 (22) 1717



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防災や防犯、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>